

1. 国道5号の現状分析

●商業施設などが立地し賑わいがある

- ・ 国道5号線は、市街地とリゾート地区、周辺町村をつなげる道路であることから、比較的規模の大きな商業施設が立地し、まちの骨格としての賑わいが見られる。

●北3条～南3条までは無電柱化されている

- ・ 北3条～南3条までは無電柱化されており、景観を阻害する要因が少なくすっきりとした印象である。
- ・ 一方で屋外広告物が目立ち、煩雑な雰囲気となっている。

●植樹帯への花植えや民地側でのみどりの設えが見られる

- ・ 一部道路沿いの植樹帯に花植えが行われている。また、民地側での壁面緑化などみどりの設えが見られる。

●倶知安橋からは羊蹄山とニセコ連峰を望む

- ・ 尻別川を渡る倶知安橋からは尻別川と河川敷のリバーパーク、遠景の羊蹄山やニセコ連峰を望むことができる。
- ・ 一部建物の色合い等と背景の羊蹄山との調和が求められる箇所もある。

●国道5号から山並みを眺めるのが好きな町民が比較的多い

- ・ 景観に関するアンケート結果より、「自宅」から山なみを眺めるのが好きだと回答した町民が最も多く、続いて「国道5号」と回答した町民が多かった。



●道路沿いの建物は比較的低層なものが多い

- ・ 道路沿いには店舗・事務所などが多いが、建物の高さは比較的低層で統一されており、羊蹄山への眺望が保全されている。
- ・ 一方で、一部高い位置の店舗看板が目立ち、遠景の山並みを阻害する箇所もある。

●高さや色彩などに統一感のない屋外広告物

- ・ 大型商業施設の屋外広告物を中心に、高さがあり大型のものが目立ち、それぞれで高さや色彩、デザインがさまざまなため、煩雑な印象がある。

●みどりが少なく無機質な印象

- ・ 北3条～倶知安橋手前までは街路樹がないため、無機質な印象を受ける。

●高砂・比羅夫周辺は商業施設や工場が立地

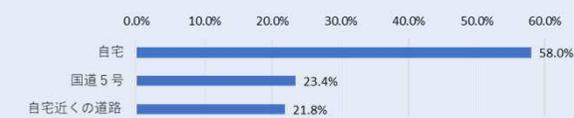
- ・ 高砂・比羅夫周辺では、カーディーラーや農機具店、工場等が沿道に立地、沿道にのぼりや看板が設置し、統一感のない印象を与えている。

●幹線道路を移動中に違和感を感じるのは「空家」や「電柱電線」など

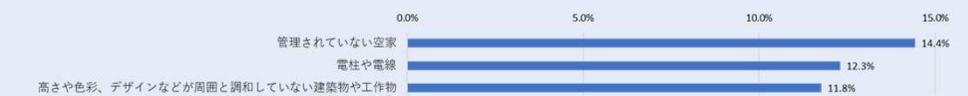
- ・ 景観に関するアンケート結果より、幹線道路を移動中に自然の景色やまちなみに違和感を覚えたことがある対象として、「管理されていない空家」「電柱や電線」と回答した町民が多かった。



▼どこから山なみを眺めるのが好きか ※上位3つのみ抜粋



▼幹線道路を移動中に違和感をおぼえた対象 ※上位3つのみ抜粋



2. 国道5号のあり方とは

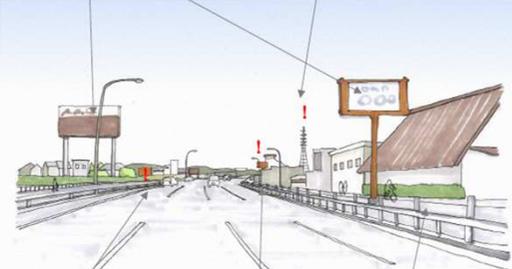
屋外広告物に対する街並みとの調和に関する事例（幹線道路の景観誘導の方針など）

【愛媛県古賀市：古賀市景観計画（平成31年）】

■屋外広告物について、大きさや色彩について配慮事項を整理

屋外広告物の大きさは、周辺の景観と調和したうえで、通りの賑わいに配慮する

電波塔などの工作物の高さ・位置・配置は、周辺の景観を阻害しない様配慮する



建築物は、周辺の景観に配慮した外観・外構とする

屋外広告物の色彩は、周辺の景観に配慮し、標識に派手にならないようにする

沿道店舗周りの緑化の推進
街路樹、植樹帯の適切な植樹

【千葉県柏市：柏市景観計画（平成31年）】

■サイン、夜間照明、オブジェ等の演出要素について、景観を損ねないような配慮事項を整理

<広告・看板類のデザインの3つの工夫>

- ①高さを抑え、周辺景観へ配慮する
- ②巨大化せず、適度な大きさに
- ③コーポレートカラーが高彩度色の場合は、面積比を変化させるなど工夫する



看板の集約化により多くの看板をすっきりとみせています。(静岡市)



高さに配慮し、建物より低くしている看板 (柏七丁目)



落ち着いた色彩の壁面に切り抜き文字の看板を用いています。(徳敷町)



広告物を街路樹に隠れるような配慮をするだけで道路からの見え方はずいぶん落ち着いたものになります。(中原二丁目)

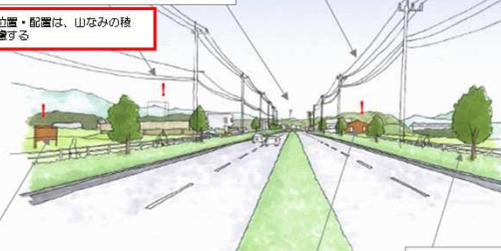
眺望や周辺の景観を意識した建物の配慮事項に関する事例（幹線道路の景観誘導の方針など）

【愛媛県古賀市：古賀市景観計画（平成31年）】

電波塔などの工作物の高さ・位置・配置は、周辺の景観を阻害しない様配慮する

電線や電柱は、配線の工夫や無電柱化等、周辺の景観に配慮する

建築物の高さ・位置・配置は、山なみの視線への眺望に配慮する



屋外広告物は必要最小限の大きさにするとともに、色彩は周辺の景観と調和したものとする

建築物は周辺の景観に配慮した外観・外構とする

街路樹、植樹帯の適切な植樹

沿道店舗周りの緑化の推進

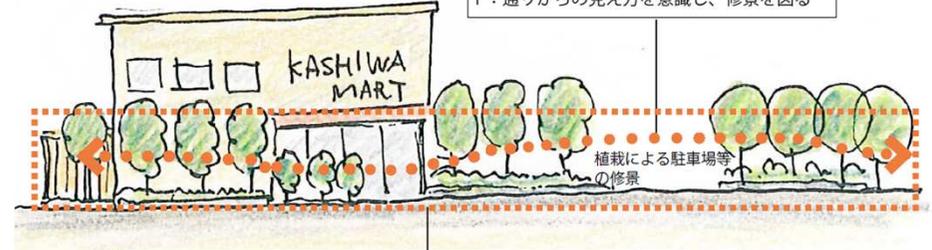
安全に自転車が行き交う空間の確保

緑化によるうるおいの創出に関する事例（幹線道路の景観誘導の方針など）

【千葉県柏市：柏市景観計画（平成31年）】

■通りからの見え方を意識し、植栽等で集計を図る

1：通りからの見え方を意識し、修景を図る



植栽による駐車場等の修景

2：季節感のある緑や雰囲気のある素材により、潤いある沿道景観を形成する



向かいには斜面が残る商業施設の敷地。セットバックして緑地を設けることによってゆとり空間をつくりだしています。(松ヶ崎)



駐車場を囲むかたちで積極的緑が配置されています。(相模原市)



接道部の高い樹木が通りからよく見え、店舗のランドマークにもなっています。(戸塚市)

■季節感のある緑や雰囲気のある素材により、潤いある沿道景観を形成する



歩行者空間と接する部分に植栽を設け、潤いのある沿道景観を寄与しています。(文京区)

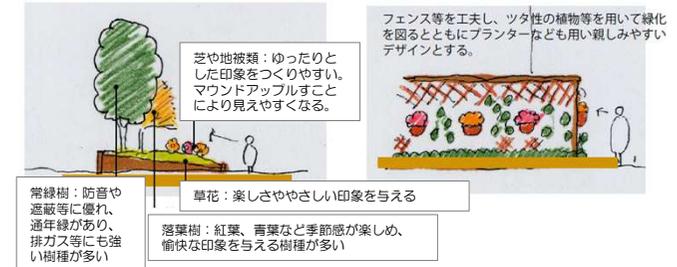


生け垣と垣根で修景した駐車場。和風の店の雰囲気と上手に取り入れています。(小山市)



セットバック空間にしつらえた緑やデッキがおしゃれな雰囲気を出しています。(藤沢市)

<季節感を感じられる緑の組み合わせを考える> <ゆとりがない場合も緑を工夫して用いる>



芝や地被類：ゆったりとした印象をつくりやすい。マウンドアップルすことにより見えやすくなる。

フェンス等を工夫し、ツタ性の植物等を用いて緑化を図るとともにプランターなども使い親しみやすいデザインとする。

常緑樹：防音や遮蔽等に優れ、通年緑があり、排ガス等にも強い樹種が多い

草花：楽しさややさしい印象を与える

落葉樹：紅葉、青葉など季節感が楽しめ、愉快な印象を与える樹種が多い